

きくもとパワー



厚別区は『きのこだより』(研究便り)として、同じ内容を発信しています。



研究実践園における保育実践研究について

札幌市立幼稚園は、研究実践園として幼児教育の今日的課題等をテーマに実践研究を行っています。研究を通して子どもにとって大切な経験～遊びを中心とした生活の中で自分らしさを発揮しながら、「やって、みたい!」という思いを実現する、友達との関わりを通しての育ち等の幼児期の学びを確かめたり考えたりしています。研究アドバイザーの先生による助言を研究に生かして、その成果をお便りやHP、地域公開保育等を通して発信してきたところです。



幼児教育センターホームページでは、研究実践園の取組をご紹介します。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/youjikyoku/yousenn/kennyuu.html>



研究副主題

豊平区・清田区
多様な教育・保育環境
(長時間保育の実践)

白石区・厚別区
遊びを通した
幼児期の学び

西区・手稲区
特別支援教育

北区・東区
幼保小連携・接続

中央区・南区
家庭教育支援

5つのテーマの保育実践研究
札幌市の幼児教育を取り巻く状況、特徴、課題から

研究主題



質の高い幼児教育の実現に向けて
～つながる ひろがる
札幌市の幼児教育～



研究便りの発行



研究アドバイザーを講師とした学習会



2区協働した研究



研究協力校との合同研修

令和6年度は、3カ年計画で取り組んできた研究主題「質の高い幼児教育の実現に向けて～つながるひろがる 札幌市の幼児教育～」のまとめの年となります。

札幌市の目指す質の高い幼児教育～幼児期にふさわしい生活の中で子どもがしてみたいことが叶い、その子らしさが発揮され、子どもが主体的に生活できる幼児教育～に向けて、子どもを取り巻く全ての人々がつながり、学びがつながり、子どもたちの未来へつながり、ひろがっていくことを願い保育実践研究に取り組めます。引き続き、地域の皆様へ保育実践の成果をお伝えしてくとともに、5つのテーマの3年間の実践をまとめ、成果物を配布していく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。





2区で協働して研究を推進しています

厚別区 あつべつきた幼稚園

白石区 きくすいもとまち幼稚園

副主題：遊びを通した幼児期の遊びとは

〈今年度の重点について〉

昨年度の研究から「一人一人思いを受け止め、探求する姿を支えながら、周りの幼児への刺激となるような環境を作っていくこと」で、幼児が自分とは違う考えややり方を取入れながら、遊びを広げたり深めたりしていくことや、「教師間でそれぞれの幼児の育ちやねらいを話し合い、共有して幼児を支えていくことはもちろん、遊びの流れや変化に応じて、その場で伝え合うこと」で、幼児が探求しながら遊びを続け、遊びを通した学びが続いていくことが分かってきました。

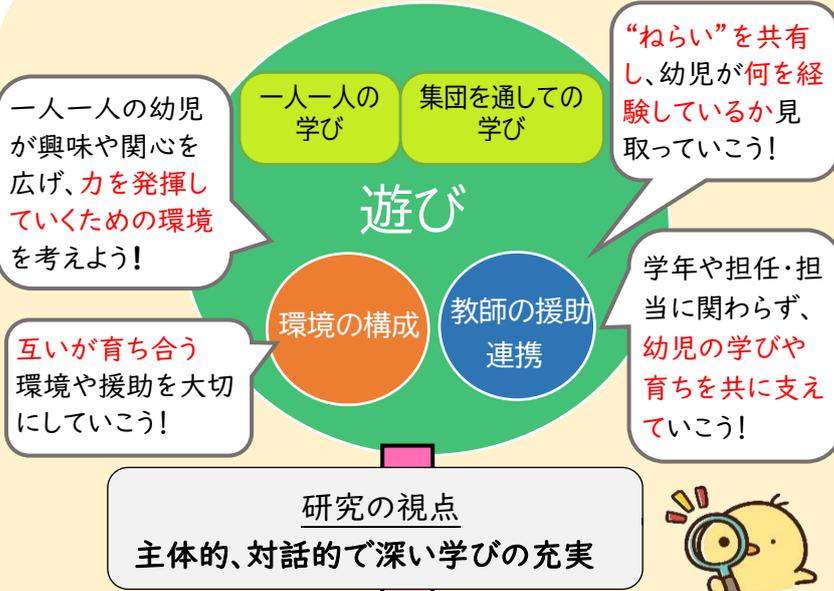
そこで、今年度は『一人一人が自分の力を発揮し、互いに育ち合うための環境の構成と援助～個々の力が響き合って、さらにパワーアップ！～』を重点として研究をすすめていきます。

研究アドバイザーのご紹介

北翔大学 教育文化学部 教育学科 准教授
工藤 ゆかり 氏



研究の内容と方法について



●研究の方法

- ①週案に研究の重点にかかわるエピソード欄を設け、環境の構成や援助について話し合う。
- ②研究日にエピソードをもとに事例を出し、研究の視点“主体的、対話的で深い学びの充実”から幼児が何を体験しているかを見取り、一人一人が自分の力を発揮し互いに育ち合うための、環境の構成と援助について話し合っていく。
- ③厚別区との合同研究日を設け、各園の研究部が参加し、研究便りを合同で発行する。

●週案のエピソード欄

友達との関わりの中でお互いの良さを発揮し合っていくことで大きな学び・育ちにつながった(または今後そうなりそうな)エピソードについて記述する。

写真
(遊びの場面や幼児の姿)

なぜそう思った？
教師の見取りと願いを記述

どうしたのか？
環境の構成、教師の援助、教師間の連携について記述



個人と仲間集団のウェルビーイング